

グアテマラ経済（2012年3月）

平成24年6月
在グアテマラ日本国大使館

『3月の主な動き』

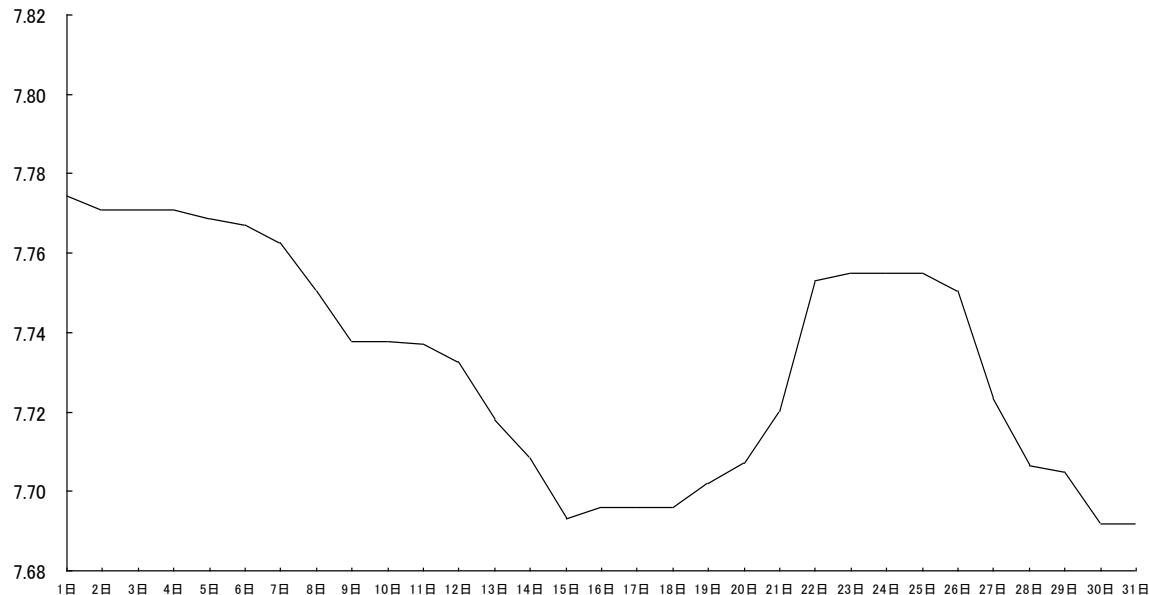
- 3月、対米ドル・ケツアル為替は1ドル=7.692~7.775の範囲で推移した。
- 3月、消費者物価指数は対前年同月比4.55%上昇した。
- 3月、外国からの送金額は前月に比べ上昇した他、対前年同月比でも4.69%増となつた。
- 20日、センテーノ財務大臣は辞意を表明し、国会に右を報告した。

1. 主な経済指標

(1) 為替レート（中銀）

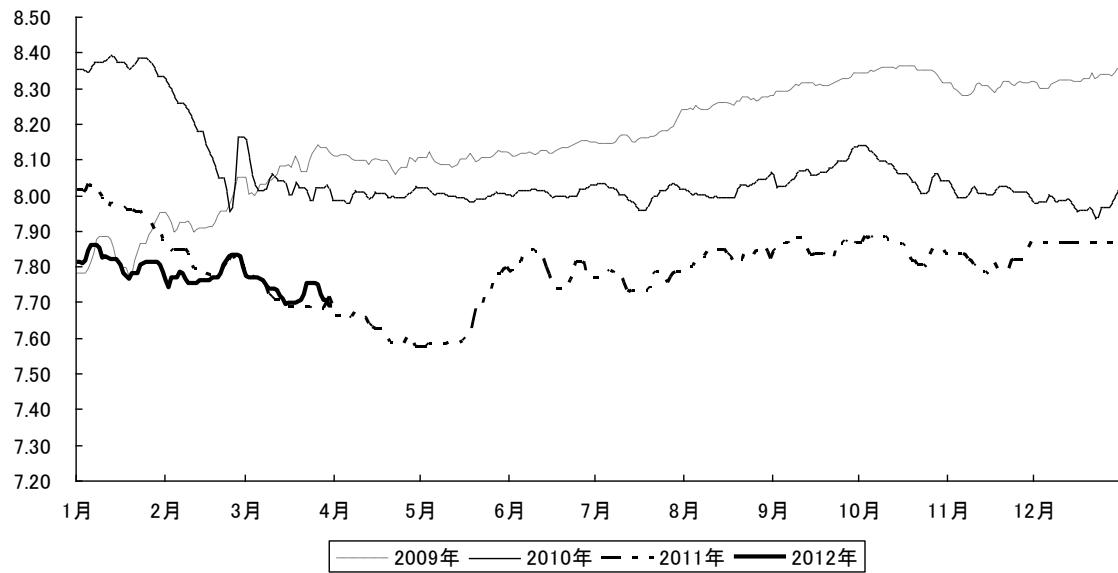
3月、ケツアルの対米ドル為替相場は、1ドル=7.692~7.775の範囲で推移した。3月31日時点の為替レートは同月初頭に比べ0.0826ケツアル安ドル高の1ドル=7.6914ケツアルであった。

ケツアル対ドル相場の推移：2012年3月



(出典：グアテマラ中央銀行)

ケツアル対ドル相場の推移：2009年-2012年

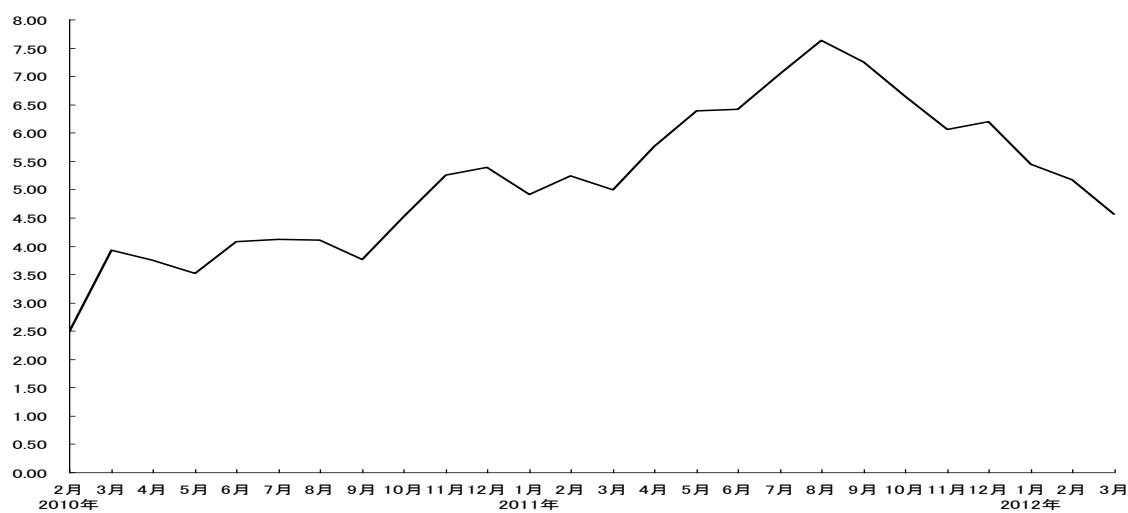


(出典：グアテマラ中央銀行)

(2) 消費者物価指数（国立統計院）

3月、消費者物価指数は対前月比0.33%、前年同月比4.55%上昇した。

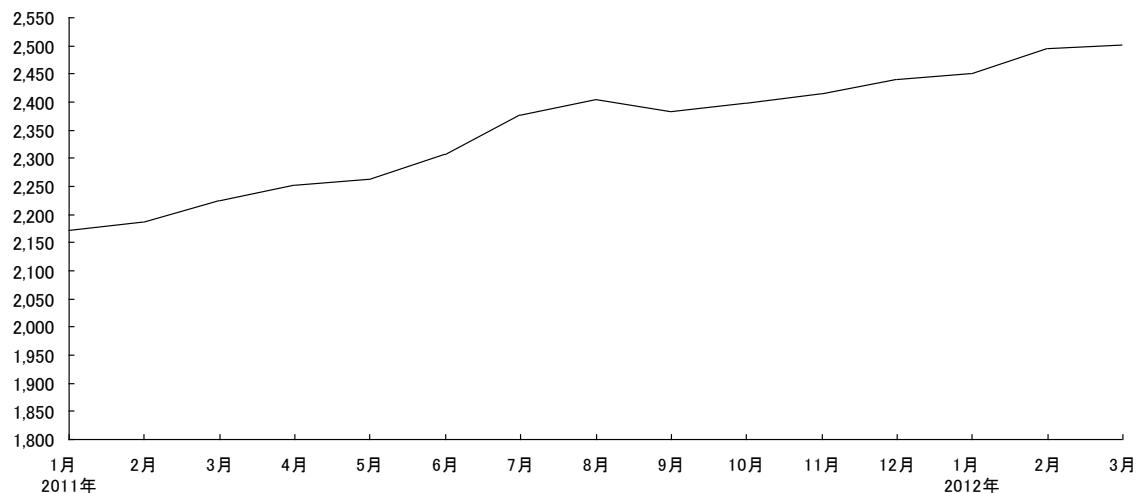
消費者物価変動率(対前年同月比:%)：2010-2012年



(出典：国立統計院)

基礎的食料品バスケット (Canasta Básica de Alimentos: 1世帯 5.38人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料 26 品目) 価格は、前月比 44.40 ケツアル増の 2,494.20 ケツアル/月となった。

基礎的食糧品バスケット価格：2011-2012年
(単位：ケツアル)



(出典：国立統計院)

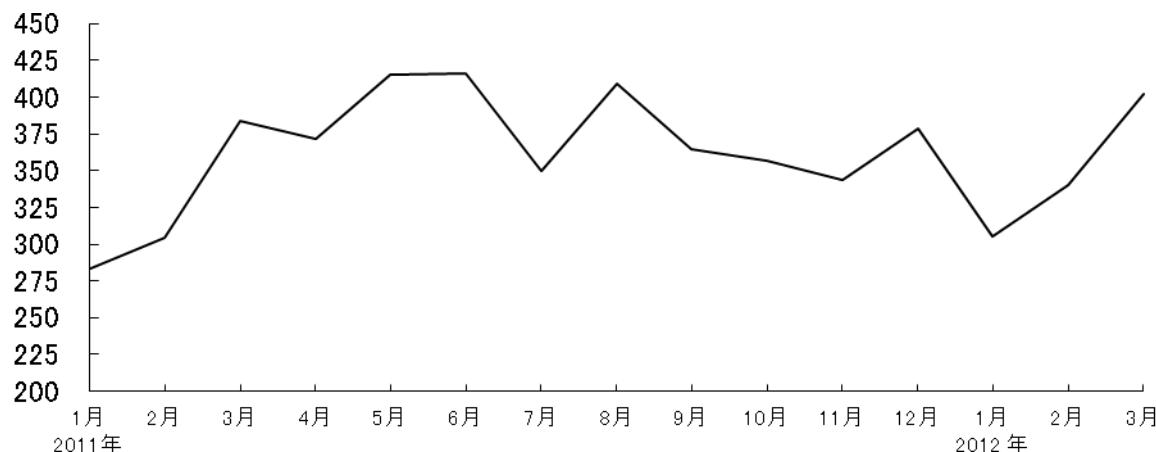
また、基礎的生活バスケット (Canasta Básica Vital: 基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの) の価格も、前月比 81.02 ケツアル増の 4,551.46 ケツアル/月となった。

(3) 外国からの送金（中銀）

3月、外国からの送金額は前月に比べ上昇し、前年同月比13.56%増の4億212万ドルとなつた。

外国からの送金額：2011-2012年

(単位：百万米ドル)



(出典：グアテマラ中央銀行)

2. 国内経済トピックス

(1) センテーノ財務大臣の辞任表明

(ア) LIDER 党は新政権発足直後から、鉱山開発に対する採掘権料の引き上げ、財政改革法案、透明性確保関連法案、医薬品の入札契約、国会の各委員会顧問の給料等に関する報告を受けることを目的としてセンテーノ財務大臣の国会喚問を要請してきた。これに対して同大臣は、連日に亘る喚問を受けつつも終わりのない右要請への対応は時間の浪費に過ぎないとしてきた（当館注：国会において大臣が喚問を受けている間は他の一切の案件は審議出来ない）。

(イ) 20日、センテーノ財務大臣は辞意を表明し、国会に右を報告した。センテーノ大臣に対する国会喚問要求の急先鋒であるビジャテ LIDER 党首は、同大臣の辞任理由については知らないとしつつ、現政権が選挙資金の支援を受けたとされる医薬品会社より、医薬品を水増し価格で購入するとの疑惑があるので、LIDER 党として右を究明する意向であると述べた。これに対し、20日、ペレス・モリーナ大統領はメディアに対し、センテーノ大臣の辞任を受理しない旨述べた。また、同大臣に対する喚問要求によりその他国会審議が遅れていることに対する不快感を明らかにした他、LIDER 党議員が本件を交渉材料にして委員会のポストや予算を要求している旨述べた。

(2) 2011年の当国外貨準備高

当国中銀は、2011年の当国外貨準備高は6,664.7百万ドルで、当国経済を活発化させ、債務及び債務返済を履行するのに十分な水準であると発表した。

(3) 2012年の当国新車販売状況

自動車輸入協会(AIDVA)は、2012年1月の新車販売台数が2,294台で対前年比同月比15.04%増、新車台数も1,286台で対前年同月比34.52%となり、右傾向は当国経済が回復し、当国国民が中古車よりも新車の購入を希望していることを示していると発表した。

(4) 国債の発行

当国財務省は、2012年度国家予算の補填のため、総額124.5百万ケツアルの国債を発行した。財務省によれば、同国債の中、77%は民間部門で、23%は公共部門で売買された。今回発行された国債の償還期間は5～15年で利率は7.25%～9.25%。なお、国債発行は今年に入り4度目であり、現段階における2012年の発行総額は1,211.5百万ケツアル。

3. 対外経済トピックス

(1) 外国企業ミッションの当国訪問

(ア) 13日、当国を訪問中の韓国の企業ミッションがペレス・モリーナ大統領及びデ・ラ・トーレ経済大臣と会談し、当国ケツアル港周辺に自動車組み立て工場を設置する可能性に關し協議した。同ミッションによれば、工場設置には600百万ドルの初期投資が必要となる。

(イ) 在グアテマラ英国大使館は、3月に入り、主にセキュリティ一分野における投資の可能性を模索するため、2つの企業ミッションが当国を訪問したと発表した。

(ウ) スペインのカタルーニャ地方の企業家等が当国における投資の可能性を模索するために当国を訪問し、デ・ラ・トーレ経済大臣と会談した。同会談後、デ・ラ・トーレ経済大臣は、スペインの企業家等は主にエネルギー、インフラ（特に道路建設）及び食品加工分野における投資に關心があると述べた。

(2) 第2回ラテンアメリカ投資フォーラム

第2回ラテンアメリカ投資フォーラムが英国で開催され、当国からはパイス大統領府国家競争力プログラム(PRONACOM)民間セクター代表が出席した。同フォーラムにおいてパイス代表は、中米地域の市場と通商能力の拡大を目的とした、中米経済の繋がりを強化するためのプランを作成すべきである旨述べた。また、同代表は、中米地域においては、高速道路、港及び農村部と都市部との連結網の整備等、建設関連のプロジェクトへの投資が急務とされていると述べた。

(了)